

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成29年3月23日

計画の名称	綾瀬市公共下水道事業																																										
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	綾瀬市																																				
計画の目標																																											
良好で安全な下水道環境の実現を図る。																																											
計画の成果目標（定量的指標）																																											
公共下水道(汚水)における下水道処理人口普及率を93.9%(H23)から94.3%(H27)に増加させる。 浸水被害の軽減を図るため、公共下水道(雨水)の整備率を67.8%(H23)から67.9%(H27)に増加させる。 地震等の災害時における下水道機能の確保と下水道のライフサイクルコストを最小化するため、H23より管渠(汚水・雨水)の耐震化・長寿命化計画の策定を行い、H27までに実施率を1.1%にする。 処理場の耐震診断及び長寿命化計画の策定をH23から実施し、それらに基づき順次処理場施設の改築・更新工事を行い、H27には30.3%に増加させる。 終末処理場への全体計画流入量に対する流入量が51.0%(H23)から54.9%(H27)に増加することから、流入する汚水の処理能力を十分に発揮できるよう施設の増設を行う。																																											
定量的指標の定義及び算定式																																											
<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>当初現況値 (H23当初)</th><th>中間目標値 (H25末)</th><th>最終目標値 (H27末)</th></tr><tr><td>下水道処理人口普及率(汚水) 処理区域人口(人)/行政人口(人)*100</td><td>93.9% 93.9%</td><td>94.1% 94.1%</td><td>94.3% 94.3%</td><td></td></tr><tr><td>雨水管の計画面積に対する整備率 整備済区域面積(ha)/対象区域面積(ha)*100</td><td>67.8% 67.8%</td><td>67.8% 67.8%</td><td>67.9% 67.9%</td><td></td></tr><tr><td>下水道管渠(汚水・雨水)耐震化・長寿命化実施率 対策済管渠延長(m)/長寿命化すべき管渠延長(m)*100</td><td>0% 0%</td><td>0% 0%</td><td>1.1% 0%</td><td></td></tr><tr><td>耐震診断・長寿命化計画、処理場施設改築更新工事 改築更新済施設(棟)/全体施設(棟)*100</td><td>16.3% 16.3%</td><td>19.6% 16.3%</td><td>30.3% 16.3%</td><td></td></tr><tr><td>処理場施設の増設 流入量(m3/日)(日最大)/全体計画流入量(m3/日)(日最大)*100</td><td>51.0% 51.0%</td><td>53.2% 51.0%</td><td>54.9% 51.0%</td><td></td></tr></table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	下水道処理人口普及率(汚水) 処理区域人口(人)/行政人口(人)*100	93.9% 93.9%	94.1% 94.1%	94.3% 94.3%		雨水管の計画面積に対する整備率 整備済区域面積(ha)/対象区域面積(ha)*100	67.8% 67.8%	67.8% 67.8%	67.9% 67.9%		下水道管渠(汚水・雨水)耐震化・長寿命化実施率 対策済管渠延長(m)/長寿命化すべき管渠延長(m)*100	0% 0%	0% 0%	1.1% 0%		耐震診断・長寿命化計画、処理場施設改築更新工事 改築更新済施設(棟)/全体施設(棟)*100	16.3% 16.3%	19.6% 16.3%	30.3% 16.3%		処理場施設の増設 流入量(m3/日)(日最大)/全体計画流入量(m3/日)(日最大)*100	51.0% 51.0%	53.2% 51.0%	54.9% 51.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																							
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																																								
下水道処理人口普及率(汚水) 処理区域人口(人)/行政人口(人)*100	93.9% 93.9%	94.1% 94.1%	94.3% 94.3%																																								
雨水管の計画面積に対する整備率 整備済区域面積(ha)/対象区域面積(ha)*100	67.8% 67.8%	67.8% 67.8%	67.9% 67.9%																																								
下水道管渠(汚水・雨水)耐震化・長寿命化実施率 対策済管渠延長(m)/長寿命化すべき管渠延長(m)*100	0% 0%	0% 0%	1.1% 0%																																								
耐震診断・長寿命化計画、処理場施設改築更新工事 改築更新済施設(棟)/全体施設(棟)*100	16.3% 16.3%	19.6% 16.3%	30.3% 16.3%																																								
処理場施設の増設 流入量(m3/日)(日最大)/全体計画流入量(m3/日)(日最大)*100	51.0% 51.0%	53.2% 51.0%	54.9% 51.0%																																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	(274) 172	A	(274) 172	B	0 0	C	0 0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0% 0.0%																																	
事後評価（中間評価）																																											
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																																											
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期																																						
・市下水道課内及び下水道運営審議会で実施					・事業終了後																																						
					公表の方法																																						
					・市ホームページに掲載																																						
1. 交付対象事業の進捗状況																																											
交付対象事業																																											
A1 下水道事業																																											
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省路 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考																										
処理区											H23	H24	H25	H26	H27																												
A1-1-1	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	汚水・雨水	改築	管きょ施設長寿命化	調査計画策定・整備	綾瀬市						18 18	長寿命化支援制度 社会資本(安全・安心)へ移行																										
A1-1-2	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	汚水	新設	深谷中央地区枝線整備事業	管きょ整備 L=233.2m (汚水) 233.9	綾瀬市						8 8																											
A1-1-3	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	雨水	新設	深谷中央地区枝線整備事業	管きょ整備 L=266.3m (雨水) 274.2	綾瀬市						26 26																											
A1-1-4	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	雨水	新設	雨水枝線整備事業	管きょ整備 L=210m	綾瀬市						81 0																											
A1-1-5	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	処理場	改築	綾瀬終末処理場(水処理設備・汚泥処理設備等)	長寿命化調査計画策定	綾瀬市						70 45.7	長寿命化支援制度																										
A1-1-6	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	処理場	改築	綾瀬終末処理場(管理棟・水処理施設・汚泥棟・ポンプ場等)	耐震診断設計	綾瀬市						34 58.9	社会資本(安全・安心)へ移行																										
A1-1-8	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	処理場	増設	綾瀬終末処理場(水処理施設)	敷地造成等 A=7,500㎡	綾瀬市						14 0																											
A1-1-9	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	汚水	新設	汚水枝線整備事業	実施設計、管きょ整備 L=190m 178	綾瀬市						20 12.8																											
A1-1-11	下水道	一般	綾瀬市	直接	-	汚水・雨水	新設	基本的計画検討事業	A = 1,166ha	綾瀬市						3 2.4																											
合計																(274) 172																											

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

その他関連する事業														
計画の名称		綾瀬市における防災・安全の公下水道												
事業種別	交付対象				要素となる事業名	市町村名					全事業費 (百万円)	備考		
A 1-1-1	下水道		綾瀬市			管きょ施設長寿命化	綾瀬市					142.00	長寿命化支援制度 防災・安全移行先	
A 1-1-6	下水道		綾瀬市			綾瀬終末処理場(管理棟、水処理施設、汚泥棟、ポンプ場等)	綾瀬市					541.00	防災・安全移行先	
A 1-1-7	下水道		綾瀬市			綾瀬終末処理場(沈砂池設備、汚水ポンプ設備、汚泥処理設備等)	綾瀬市					1,136.00	長寿命化支援制度 防災・安全移行先	
						A'	1,819	B'	0	C'	0	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$		0%

2.事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・汚水管きよの整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が0.4%増加し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図られた。 ・未整備箇所の雨水管整備を行ったことにより、雨水整備面積が0.1%増加し、浸水被害の軽減が図られた。 ・地震等の災害時における下水道機能の確保と下水道のライフサイクルコストを最小化するため、H23より管渠(汚水・雨水)の耐震化・長寿命化計画の策定を行い、H27までに実施率を1.1%にする計画でいたが平成25年度より防災安全交付金に移行した。 ・処理場の耐震診断及び長寿命化計画の策定をH23から実施し、それらを基に順次処理場施設の改築・更新工事を行い、H27には30.3%に増加させる計画でいたが平成25年度より防災安全交付金に移行した。 ・終末処理場への全体計画流入量に対する流入量が51.0%(H23)から54.9%(H27)に増加することから、流入する汚水の処理能力を十分に発揮できるよう施設の増設を行う予定でいたが、増設時期の検討中。			
定量的指標の達成状況	下水道処理人口普及率(汚水)	最終目標値	94.30%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	94.30%		
	雨水管の計画面積に対する整備率	最終目標値	67.90%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	67.90%		
	下水道管渠(汚水・雨水)耐震化・長寿命化実施率	最終目標値	1.00%	目標値と実績値に差が出た要因	平成25年度に防災安全交付金に移行した。なお、防安では長寿命化計画を策定し、目標の1%に達した。
		最終実績値	0%		
	耐震診断、長寿命化計画、処理場施設改築更新工事	最終目標値	30.30%	目標値と実績値に差が出た要因	平成25年度に防災安全交付金に移行した。なお、防安では処理場の耐震診断、耐震工事及び長寿命化計画を策定し、それらを基に処理場施設の改築・更新工事を実施し、目標の29.7%(防安に移行した時の目標値)を達成した。
		最終実績値	16.30%		
処理場施設の増設	最終目標値	54.90%	目標値と実績値に差が出た要因	社会情勢の変化から、将来人口の減少や節水の傾向による流入水の減少等により増設の検討を行っているため目標の達成に至らなかった。	
	最終実績値	51.00%			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					
3.特記事項(今後の方針等)					
・汚水については快適な生活環境確保と公共用水域の水質保全を図るため、下水道の未普及地域解消に向け、より効果的かつ効果的な整備を進め、投資効果の高い地区や路線を選定し今後も事業を継続する。 ・雨水については、局地的な集中豪雨など、内水氾濫による浸水被害の軽減を図るため浸水被害箇所や未整備路線の整備を今後も継続する。					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

